

2月季節の便り



ハイタカメス・若鳥：

ハトより少し大きい小型の鷹で、多磨霊園には12月中旬頃より姿を現して、水場に来るメジロやスズメを急降下して襲っていましたが、昨年生まれで狩りにはまだ不慣れなようです。

ツグミ・ヒヨドリ：

水場にツグミとヒヨドリが水を飲みにやってきたところで、真ん中のヒヨドリは口から水をよだれのように垂らしています。



和ロウバイ：

和ロウバイは素心ロウバイより遅れて咲き、芯は紫色で美味しいのかヒヨドリは蕾や花を丸ごと食べ、メジロも蜜を吸い、花びらも食べていました。

シロハラメス・メジロ：

水場でシロハラとメジロが仲良く水を飲んでいる所です。写真の中にメジロは10羽いますが、このように並んでいるところはなかなか撮れなくて、ここのベテランは以前12羽並びを撮ったと自慢していました。





ミサゴ・メス：

ミサゴは海岸の崖などで繁殖する大型の鷹で、海辺や河口近くで魚を獲っています。

多分多摩川河口近くのミサゴがやって来たのでしょう。小山の上空を1分位ぐるりと回って飛び去りました。

シジュウカラ：

シジュウカラがカマキリの卵を食べているところで、エナガ、メジロ、コゲラなども食べます。



ムクドリ：

ムクドリは群れをなして行動し、各地の駅前の街路樹でギャーギャーうるさく鳴いたり、糞害で憤慨を買っています。センダンの実はツグミやヒヨドリも食べます。

トビ・カラス：

トビも大型の鷹の仲間です。年に数回上空に現れクルリと輪を描いていますが、いつもカラスに付きまとわれて何とかかわそうと苦労しています。

